

# 視察を終えて

北海道教育大学 函館校 環境科学専攻

4年 田中 南奈

# ○目次

- 自己紹介, 参加理由
- エネルギーミックスについて
- 施設を見学しての感想、印象に残ったこと
- 現地の人々の声
- 皆さんに伝えたいこと

## ○自己紹介、参加理由

- 大学に入学する以前

原子力発電やエネルギー問題について自分の問題として考えることができず、知識もなかった。

- 大学入学後

エネルギー問題や原子力発電の問題について考える機会が増え、メリット、デメリットを理解したうえで自分で判断したいと思ったから。

- 高レベル放射性廃棄物の処分先が決まっていない今、再処理工場を受け入れた現地の人の声を聴けるというのはとても貴重な体験だと思ったから。

## ○エネルギーミックスについて

- 一つの発電方法に依存するのではなく、組み合わせるべき
- 再生可能エネルギーの発電方法の進化に期待
- 東日本大震災後、原子力発電の電力を火力発電で代用したが、燃料費のかかる石油や天然ガスを多く輸入することになった。

**\* 一日に約100億円、年間3兆4000億円かかっている。**

## ○印象に残っていること

- 日本はエネルギー自給率が約6%と低いこと
- 使用済み燃料が収納されている金属キャスクを除熱するのに、自然の空気の流れを利用して除熱している。
- 厳重なセキュリティの管理

## ○現地の人の声 その1

- 「再処理工場を受け入れたことに誇りを持っていて、このような決断をしてくれた昔の方々にすごく感謝している。」とおっしゃっていて印象に残った。
- 放射性物質が海に散らばっていると聞いていたため、受け入れることは不安だったがそれよりも経済力をつけたくて受け入れに賛成した。

## ○現地の人の声 その2

- 不安を解消すべく、勉強会などに積極的に参加し、開催した。

県内や県外に出向いて理解を求めたが最初は偏見をもたれた。

**\* コミュニケーションをとることが重要**

- ・不安を抱えている人に自分たちの食べている食材を測定してもらい、安全だと分かってもらうことによって安心してもらった。

**\* 身近なことを用いて目で確認してもらうことが重要**

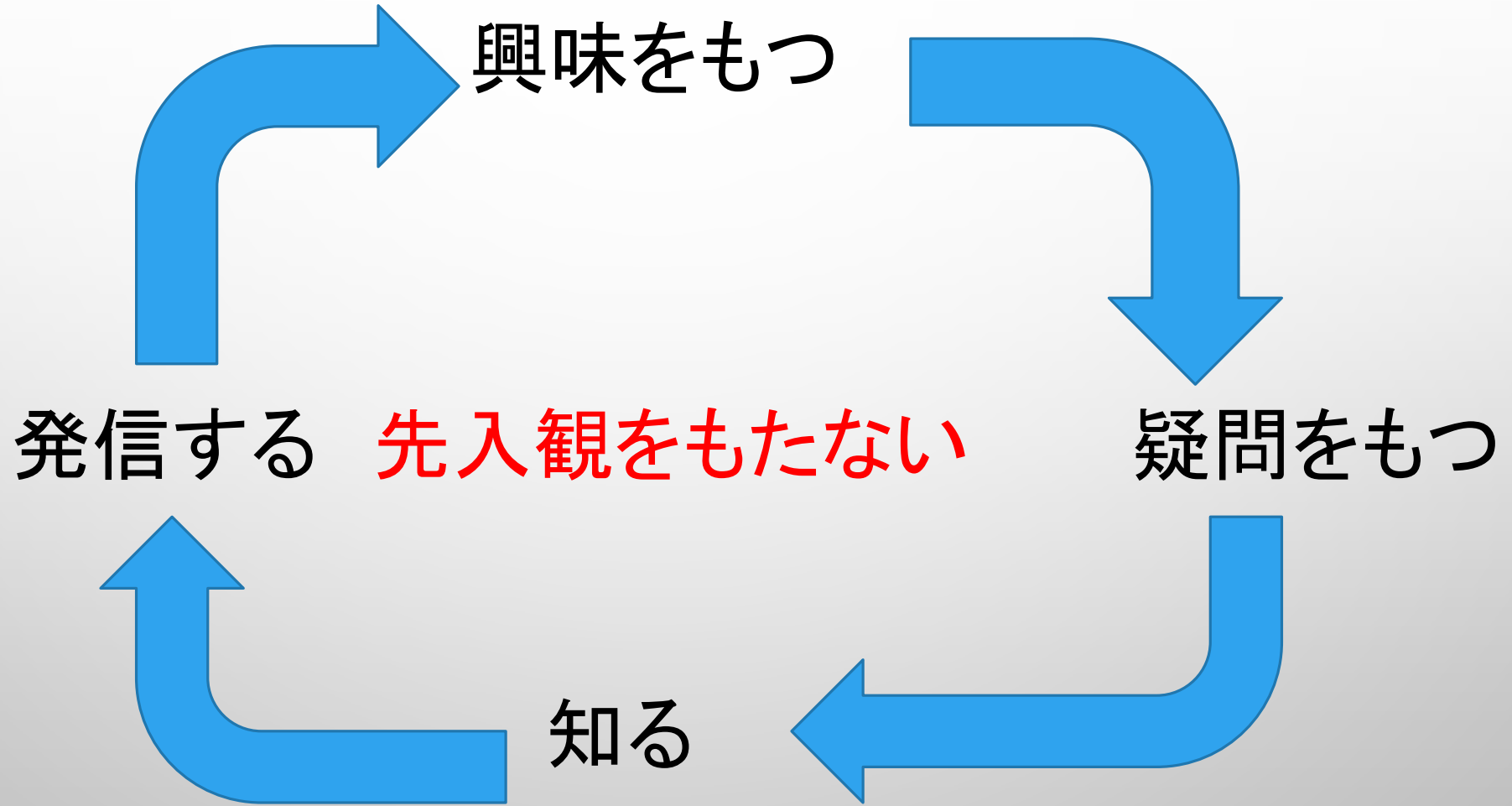
## ○受け入れたその後

- ・ 出稼ぎに行くことなく、地元で働いている。
  - 社員の地元採用割合が高く、約6割が青森出身者。
  - 女性も採用される
- ・ 十分な教育や医療を受けれるようになった。

今でも反対している人はいるけれども、受け入れたことに感謝している人もたくさんいる



# 皆さんに伝えたいこと



ご清聴ありがとうございました